

# ○ 法人設立し農地の受け皿に

(富山県魚津市農業委員会 稗苗史絵委員 )

## 1. 農業委員会の概要

- 農業委員: 14名(うち女性2名)
- 農地利用最適化推進委員: 11名(うち女性0名)

## 2. 取り組みのきっかけ

- 魚津市の中山間地域に位置する松倉地区では、2020年12月から始まった人・農地プランの話し合いで地区の課題として高齢化・後継者不足が挙げられた。
- 地区内の11集落のうち特に後継者不足に悩むのは4集落。地域を守るため、地域の受け皿となる担い手をどう作るかが課題であった。

## 3. 具体的な取り組みの内容

- 稗苗委員は、自らも夫婦で農業を営んでおり、地域を守るための受け皿となるべく、2021年6月に地区内の30代の水稻農家とともに法人を設立を決意。プランの実行や農地集積に向け、営農組合や地権者への説明会を行っている。
- 説明会を行う中で地区内からは集積を歓迎する声も上がる一方で代々耕作してきた農地を担い手へ渡すことへの不安の声も聞かれ、農業委員としての先輩であり、地区をよく知る高橋順子委員、松田治之委員と共に20軒以上の地権者を粘り強く戸別訪問。
- その結果、立ち上げた法人は、地域の担い手として約30ha、300枚以上の水田を耕作するまでになった。
- 現在も先輩委員のアドバイスを受けながら、「地域から頼られる農業委員」を目指し奮闘している。



※(写真左から稗苗委員、高橋委員、松田委員)

(全国農業新聞2022年5月20日号より内容を再編集)